

高配当株に資金流入

NISA始動

個人にも資産運用をしやすくする少額投資非課税制度（NISA）が始まって1週間。NISAの実際の買い付けでは、武田薬品工業がトップになるなど高配当の銘柄に人気が集まった。株価の上げ下げで短期的に利益を狙うよりも、長期保有を考えた銘柄選びが顕著だ。投資信託に毎月定額を積み立てる手法も目立ち、長期志向の資金が市場に入り始めている。

NISAは年100万円の投資額を上限に、株式や投資信託の譲渡益や

個人にも資産運用をしやすくする少額投資非課税制度（NISA）が始まって1週間。NISAの実際の買い付けでは、武田薬品工業がトップになるなど高配当の銘柄に人気が集まった。株価の上げ下げで短期的に利益を狙うよりも、長期保有を考えた銘柄選びが顕著だ。投資信託に毎月定額を積み立てる手法も目立ち、長期志向の資金が市場に入り始めている。

武田・キヤノン・トヨタ... 長期保有志向強く

NISA開始1週間で買われた銘柄

武田薬品工業	(3.7%)
みずほFG	(2.5)
ソフトバンク	(0.4)
キヤノン	(4.0)
三菱UFJ	(2.0)
トヨタ自動車	(2.3)
NTTドコモ	(3.4)
野村	(2.0)

（注）証券8社の約定上位10銘柄をもとに、1位10点～10位1点で点数化。カッコ内は10日現在の配当利回り。一部略称

- #### NISA口座を通じた投資事例
- 高配当株に集中して投資（武田薬品工業、キヤノンなど）
 - 大型の主力株に複数投資（トヨタ、ソフトバンクなど）
 - 株主優待が厚い銘柄を小口で多数保有（ANA、イオンなど）
 - 株価指数連動型の投資信託に毎月積み立てて投資

NTTドコモなど時価総額が大きい銘柄が並んだ。NISAの非課税枠は一度買ってから売っても枠が戻るわけではない。長期的に配当を見込め、値動きが安定した銘柄に

NTTドコモなど時価総額が大きい銘柄が並んだ。NISAの非課税枠は一度買ってから売っても枠が戻るわけではない。長期的に配当を見込め、値動きが安定した銘柄に

海外機関投資家も関心

株式市場で配当利回りの高い銘柄の上昇が目立つ。NISAの開始もあって、業績が比較的安定し、利回りの高い銘柄に長期資金が入っていると期待がある。機関投資家の一部でもこうした銘柄を選ぶ動きがみられ、全体を下支えしている。

配当利回りは年間の配当額を株価で割って算出する。前年末から10日までに日経平均株価は2%下がったが、配当利回り

NTTドコモなど時価総額が大きい銘柄が並んだ。NISAの非課税枠は一度買ってから売っても枠が戻るわけではない。長期的に配当を見込め、値動きが安定した銘柄に

NTTドコモなど時価総額が大きい銘柄が並んだ。NISAの非課税枠は一度買ってから売っても枠が戻るわけではない。長期的に配当を見込め、値動きが安定した銘柄に

倍政権下で前倒し

▽：都道府県が認可し、国と地方自治体が運営費を補助する認可保育所へ入所を申請したが、入れない子どもが「待機児童」。厚生労働省によると、2013年4月時点ですべて2万7411人になる。認可保育所は全国に約2万4千カ所あり、0歳児10%引き上げ後、を財源

知よしのDDB